

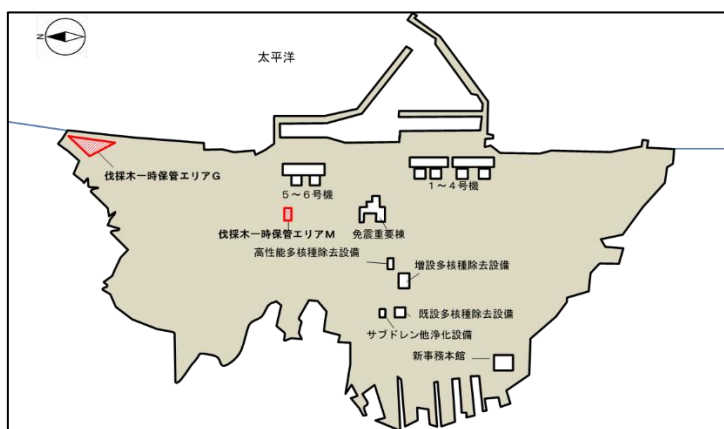
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年2月5日（月）
- 2 確認箇所
伐採木一時保管エリアG、M
- 3 確認項目
伐採木一時保管エリアG及びMの現況確認
- 4 確認結果の概要

東日本大震災後に福島第一原子力発電所構内の敷地造成等により発生した伐採木は、構内の伐採木一時保管エリア（以下「エリア」と言う。）で保管されており、増設雑固体廃棄物焼却設備の設置以降は、焼却処理のため、チップ化処理が進められていることから、現況について確認を行った。（前回確認：令和5年2月2日）（図1）

（1）伐採木一時保管エリアG

- ・エリアGは単管パイプ等で区画されており、伐採木を処理するための油圧ショベル、チップ化用破砕機、運搬用トラックが配備されていた。（写真1）
- ・確認時、伐採木をチップ化するための前処理作業である伐採木の小割作業が行われていた。（写真2）
- ・伐採木のチップ化を行う作業場所においては、敷地境界と接する側に飛散防止用のネットが設置されており、ネット周辺にはダストモニタ3基が設置されていた。また、ダスト飛散防止のための散水用ノズル2基が設置されていた。（写真3）
- ・火災対策のための防火水槽及び消火器が設置されていた。（写真4）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
伐採木一時保管エリアGの現況
(南側から撮影)



(写真1-2)
重機等の配備状況①



(写真1-3)
重機等の配備状況②



(写真2-1)
伐採木小割作業の実施状況 (遠写)



(写真 2 - 2)
伐採木小割作業の実施状況 (接写)



(写真 3 - 1)
飛散防止用ネット及びダストモニタ
の設置状況



(写真 3 - 2)
ダストモニタ吸引口の設置状況



(写真 3 - 3)
散水用ノズルの設置状況



(写真4-1)
防火水槽の設置状況



(写真4-2)
消火器の設置状況

(2) 伐採木一時保管エリアM

- ・確認時、重機等は配備されておらず作業は行われていなかった。
- ・伐採木が保管されている状況であった。(写真5)
- ・火災対策のための消火用タンクが配備されていた。(写真6)



(写真5-1)
伐採木一時保管エリアMの状況
(令和5年2月2日撮影)



(写真5-2)
伐採木一時保管エリアMの状況
(令和6年2月5日撮影)



(写真6)
消火用タンクの設置状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。